

—今から十年後は

「いつもニコニコして、平和に暮らしたい。」

「安定した収入のある会社で働き、結婚して子どもが二人ほしい。」

「仕事と主婦を両立させて、育児も頑張りたい。」

「社会の中で、もまれていていると思います。」

「新しくお母さんになる人の支えとなるような助産婦さんになって、地域で活躍したい。」

「結婚して森に小屋を建て、冬は暖炉の前でコーヒーをすすりながら、家族でだんらんしたい。夢は『ピツ

グダディ』です。」
「子どもと『距離の近い』夢や幸せを与えられるような学校の先生になつていたい。」

—理想の大人とは

「周りの人に合わせる事ができ、協調性のある人。」

「人や自分自身の面倒がみられる。」

「自分の行動や言動に責任が取れる。」

「社会に出て、自分の意見を持ち、意志を大事する。」

「現実をしっかり見て、家族のことを真剣に考えることができる。」

—成人式を迎えるにあたり

「二十歳になった節目を、世話になった親や親戚、周りの皆さんに感謝したい。」

「大人としての第一歩を踏み出す式なので、自分自身を引き締める機会としたい。」

「甘えた気持ちを子どもから大人へ切り替えたい。」

「観光名所がない。若者が多く集まり、遊べる場所をつくってもらいたい。」

—阿久比町に望むこと

「自然が豊かで、ほのぼのとした雰囲気が好き。住宅地も増えてきたので、自然環境を残したまちづくりを進めてもらいたい。」

「子どもや高齢者が今以上に安心

「子どもや高齢者が今以上に安心

「子どもや高齢者が今以上に安心



「新成人の集い」 実行委員長

佐藤 直人さん

- 当日に向けての意気込みは

「20歳を迎え、お世話になった皆さんへ感謝ができるきっかけをつくる場にしたいと考えています。昔の仲間と一堂に会するのは中学校を卒業して以来です。参加者が思い出を振り返りつつ、心に残るひとときを過ごしてもらえればと思います。実行委員全員で式を盛り上げていきます」

新成人が生まれた年（1989年）

- 阿久比町では11月、町の東西を結ぶ“夢の架け橋”「オアシス大橋」開通。
- 4月 消費税スタート（税率は3%）
- 6月 中国で天安門事件
- 11月 ドイツでベルリンの壁崩壊
- 携帯ゲーム機「ゲームボーイ」発売
- 流行語「お局さま」、「ツーショット」
- 流行歌「川の流れのように」（美空ひばり）、「淋しい熱帯魚」（Wink）



式の準備に取り組む新成人

して暮らせる町にしてほしい。」
理想的な大人を目指す道は険しいかもしれませんが、あせることなく一歩一歩、夢に向かって前進を続け、少しでも理想に近づけるように頑張ってください。新成人に「幸」あれ。

「新成人の集い」では小学校の教師からのビデオレターを自分たちで編集し、披露する予定だそうです。また、中学校の恩師を会場に招き、ゲームなどを行うプログラムが用意されています。実行委員のメンバーは、参加者が楽しく過ごせるようにと、何日もかけて真剣に式の準備に取り組んでいます。「みんなでいい思い出をつくらう」。実行委員長の佐藤さんの言葉に力がこもっていました。